令和７年度（２０２５年度）熊本県若年性認知症受入促進研修募集要領

１　研修目的

標記研修は若年性認知症の方の居場所の確保に向け、県内の介護サービスまたは障害福祉サービスを提供する事業所等（以下「事業所等」という。）において、受入のために必要となる介護技術・ノウハウを修得するための研修を実施する。

なお、講師は個別ケアの直接的な提供方法を伝えるのではなく、ケアの視点及び方向性の考え方を示すものとする。

２　研修内容

（１）　講師事業所内実習研修（県が委託する研修実施事業所で開催する研修）

①対象

　　県内の事業所等で、現に若年性認知症の方（現在の年齢が６５歳以上でも、発症時の年齢が６５歳未満の方を含む。以下同じ。）を受け入れているまたは受け入れに関心のある事業所等

②募集事業所数

　　研修実施事業所１か所あたり１０事業所

　　（受講事業所１か所あたり１～２人の参加とする。）

③研修実施事業所

|  |  |
| --- | --- |
| 研修実施事業所 | 受講対象事業所等 |
| 特定非営利活動法人あやの里住所：熊本市東区山ノ内２－１－１４ | 県央及び天草地域に所在する事業所等（熊本市、宇土市、宇城市、下益城郡、上益城郡、天草市、上天草市、天草郡） |
| 特定非営利活動法人たまな散歩道デイサービスわだち製作所住所：荒尾市川登１９５３－２６ | 県北地域に所在する事業所等（荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、阿蘇市、合志市、玉名郡、菊池郡、阿蘇郡） |
| 株式会社シンパクトケアサポートメロン住所：熊本市南区日吉二丁目３－８４ | 県南地域に所在する事業所等（八代市、人吉市、水俣市、八代郡、葦北郡、球磨郡） |

※対象外の地域に所在する事業所等の受講についても柔軟に対応する。

④研修カリキュラム

　　別記１のとおり。

（２）　講師派遣研修（受講を希望する事業所等に、講師を派遣する研修）

①対象

　　現に、若年性認知症の方を受け入れているまたは具体的な受入予定がある事業所等

②募集事業所数

　研修実施講師１人あたり３事業所

③研修実施講師

|  |  |
| --- | --- |
| 研修実施講師 | 受講対象事業所等 |
| 岡元　奈央　氏　他（特定非営利活動法人　あやの里　理事長） | 県央及び天草地域に所在する事業所等（熊本市、宇土市、宇城市、下益城郡、上益城郡、天草市、上天草市、天草郡） |
| 西村　哲夫　氏　他（特定非営利活動法人たまな散歩道デイサービスわだち製作所　理事長） | 県北地域に所在する事業所等（荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、阿蘇市、合志市、玉名郡、菊池郡、阿蘇郡） |
| 元田　真一　氏　他（株式会社シンパクトケアサポートメロン　代表取締役） | 県南地域に所在する事業所等（八代市、人吉市、水俣市、八代郡、葦北郡、球磨郡） |

※対象外の地域に所在する事業所等の受講についても柔軟に対応する。

④研修カリキュラム

　　別記２のとおり。

３　受講申込

（１）受講申込・決定

研修受講を希望する事業所等は、研修実施事業所（講師）（以下「講師」という。）に申込書（別紙様式１）を提出する。受講日等は、受講希望事業所等と研修実施事業所（講師）で協議の上、決定する。

（２）募集締切

令和８年（２０２６年）２月２７日（金）

ただし、定数に達し次第、受付を終了する。

（３）受講料

　　無料（研修受講に係る旅費及び郵送費は、自己負担とする。）

　　※講師謝金等は県が負担する。

別記１

講師事業所内実習研修カリキュラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 目的 | 時間（分） |
| 講義 | 本人及び家族支援について | 若年性認知症の方及び家族に対する支援で求められることを学び、自事業所における支援について考える。 | ４５ |
| 講義 | 工夫していること | 事業所において、実践しているプログラム、人員配置における工夫点等を学ぶ。 | ６０ |
| 講義 | 意見交換事例検討 | 提出された事前課題をもとに、支援等について意見交換を行うことで、支援について理解を深める。 | ６０ |
| 実習 | 実践※カンファレンスへの参加等 | プログラムの具体的な運用を実地で学ぶことで、受入れのために必要なノウハウを修得する。 | １２０ |
| グループワーク | 今後の支援の方向性 | 今後、介護サービス事業所等において、受入れを促進していくうえで求められることは何か再考する契機とする。 | ６０ |
| 講義 | 振り返り（質疑応答） |  | １５ |

合計：３６０分

※標準的なカリキュラムであり、若干の変更もあり得る。

別記２

講師派遣研修カリキュラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 目的 | 時間（分） |
| 講義 | 若年性認知症の支援について | 若年性認知症の方への支援及び介護サービス事業所等における受入れについて学ぶ。 | ３０ |
| 講義 | 意見交換 | 提出された事前課題をもとに、支援等について意見交換を行うことで、支援について理解を深める。 | ３０ |
| 実習 | 実践 | アドバイスをもとに、それを現場で実践することで、課題を解決し、技術・理解を向上させる。 | １２０ |
| グループワーク | 今後の支援の方向性 | 今後、介護サービス事業所等において、受入れを促進していくうえで求められることは何か再考する契機とする。 | ４５ |
| 講義 | 振り返り（質疑応答） |  | １５ |

合計：２４０分

※標準的なカリキュラムであり、若干の変更もあり得る。